



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 TOYO TIRE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5105 URL https://www.toyotires.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 隆史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 笹森 建彦 TEL 072-789-9100
 コーポレート統括部門管掌
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	87,744	6.9	12,702	83.1	16,007	328.3	12,153	467.6
2020年12月期第1四半期	82,094	△8.9	6,936	△31.8	3,737	△60.3	2,141	△62.0

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 23,526百万円 (-%) 2020年12月期第1四半期 △8,057百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	78.95	-
2020年12月期第1四半期	13.91	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	461,364	242,346	52.1
2020年12月期	445,579	222,694	49.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 240,245百万円 2020年12月期 220,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	20.00	-	25.00	45.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	20.00	-	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	175,500	16.5	17,500	120.7	20,400	365.9	12,600	2,323.1	81.85
通期	372,000	8.2	44,000	21.1	46,400	50.2	28,900	147.4	187.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	154,111,029株	2020年12月期	154,111,029株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	178,193株	2020年12月期	177,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	153,932,968株	2020年12月期 1 Q	153,922,643株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間における経済環境について、米国では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたワクチン接種ペースの加速により、経済活動は持ち直しが見られております。欧州では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大ペースの再加速により、各国で移動制限や店舗の営業禁止措置が取られるなど、依然として厳しい状況が続いております。わが国では、新型コロナウイルス感染症の拡大により発出された2度目の緊急事態宣言が、個人消費や経済活動に大きな影響を与え、緊急事態宣言解除後に経済活動は再開し持ち直しの動きが続いているものの、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2021年を起点とする5ヵ年の中期計画「中計'21」を策定し、その中で掲げた各種経営指標を実現するため、これまで培ってきた得意分野や独自性、研鑽してきた機能別組織機能、変革・強化を図ってきたガバナンスやコンプライアンス体制をベースに置きながら、取り巻く変化に迅速、かつ柔軟に適応する力を当社グループ全体で強化することに取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は87,744百万円（前年同期比5,650百万円増、6.9%増）、営業利益は12,702百万円（前年同期比5,766百万円増、83.1%増）、経常利益は16,007百万円（前年同期比12,270百万円増、328.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,153百万円（前年同期比10,011百万円増、467.6%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

② 事業別の状況

(タイヤ事業)

北米市場における市販用タイヤについては、発売以来好評のOPEN COUNTRY A/TⅢ（オープンカンントリー・エーティー・スリー）やNITTO Ridge Grappler（ニットー リッジグラップラー）など当社が強みとしている大口径ライトトラック用タイヤやSUV用タイヤに加え、乗用車用タイヤ、トラックバス用タイヤと全カテゴリーの販売が好調であり、販売量、売上高ともに前年度を大きく上回りました。

欧州市場における市販用タイヤについては、需要回復傾向にはあるものの、前年末から継続しているコンテナ不足による物流遅延の影響、及び供給絞り込みにより、販売量、売上高ともに前年度を大きく下回りました。

新車用タイヤについては、国内では前年を上回りましたが、北米では前年を大きく下回った結果、全体の販売量は前年並みとなり、売上高は前年度をやや下回りました。

国内市場における市販用タイヤについては、新型コロナウイルス感染症拡大の一時的な落ち着きによる需要増加に加え、新商品PROXES CL1 SUV（プロクセス・シーエルワン・エスユーブイ）を中心としたSUV用タイヤの販売に注力したことにより、販売量、売上高ともに前年度を上回りました。

その結果、タイヤ事業の売上高は77,741百万円（前年同期比5,444百万円増、7.5%増）、営業利益は13,191百万円（前年同期比5,791百万円増、78.3%増）となりました。

(自動車部品事業)

自動車用部品については、北米では寒波の影響を受けましたが、受注車種の販売が好調でした。

その結果、自動車部品事業の売上高は9,992百万円（前年同期比210百万円増、2.1%増）と前年並みとなり、営業損失は479百万円（前年同期は474百万円の営業損失）となりました。

③ 当社免震ゴム問題に係る製品補償対策費及び製品補償引当金繰入額の状況

2015年12月期において、出荷していた製品の一部が国土交通大臣認定の性能評価基準に適合していない等の事実が判明いたしました。

当第1四半期決算において、製品補償対策費 299 百万円（主として、免震ゴム対策本部人件費）を特別損失として計上しております。

現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用（主として、営業補償や遅延損害金等の賠償金、追加で判明する改修工事費用の金額が既引当額を超過する場合の費用等）がある場合には、翌四半期連結会計期間以降の対処進行状況等によって、追加で製品補償引当金を計上する可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は 461,364 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 15,785 百万円増加しました。これは、主として、たな卸資産等や有形固定資産、株価上昇により投資有価証券が増加したことによります。

また、負債は 219,017 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3,867 百万円減少しました。これは、主として、社債の発行により社債が増加した一方、長期借入金の返済や未払金、仕入債務、免震問題に係る対応の進捗により製品補償引当金が減少したことによります。なお、有利子負債は 111,447 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 868 百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は 242,346 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 19,652 百万円増加しました。これは、主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金、円安の影響により為替換算調整勘定が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は 52.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、及び通期の業績予想につきまして、第1四半期連結累計期間における為替相場が想定より円安に推移し為替差益を計上したこと等により、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回発表時の予想を修正いたします。

なお、売上高、営業利益につきましては、特に北米市場におけるタイヤの需要が好調である一方、足元における原材料価格の高騰、コンテナ不足による海上運賃の値上がり、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響について依然として不透明な状況であるため、前回発表時の予想を据え置きといたします。

2021年12月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値（2021年1月1日～2021年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前回発表予想（A） （2021年2月15日発表）	175,500	17,500	16,700	10,100
今回発表予想（B）	175,500	17,500	20,400	12,600
増減額（B－A）	—	—	3,700	2,500
増減率	—	—	22.2%	24.8%

2021年12月期通期 連結業績予想数値 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年2月15日発表)	372,000	44,000	42,700	26,400
今回発表予想 (B)	372,000	44,000	46,400	28,900
増減額 (B - A)	—	—	3,700	2,500
増減率	—	—	8.7%	9.5%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,650	36,195
受取手形及び売掛金	72,598	69,694
商品及び製品	40,061	46,431
仕掛品	3,030	3,395
原材料及び貯蔵品	12,690	14,871
その他	15,050	13,542
貸倒引当金	△343	△361
流動資産合計	180,739	183,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	62,309	65,216
機械装置及び運搬具(純額)	92,574	100,855
その他(純額)	45,823	40,372
有形固定資産合計	200,707	206,444
無形固定資産		
その他	4,851	5,155
無形固定資産合計	4,851	5,155
投資その他の資産		
投資有価証券	39,986	44,699
その他	19,398	21,398
貸倒引当金	△104	△103
投資その他の資産合計	59,280	65,994
固定資産合計	264,839	277,594
資産合計	445,579	461,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,666	25,559
コマーシャル・ペーパー	6,000	5,000
短期借入金	16,200	15,422
未払金	21,580	17,504
未払法人税等	1,766	4,878
製品補償引当金	9,192	7,256
その他	24,236	25,630
流動負債合計	108,643	101,251
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	86,010	78,536
退職給付に係る負債	5,437	5,650
製品補償引当金	9,126	9,233
その他の引当金	100	100
その他	13,567	14,245
固定負債合計	114,242	117,766
負債合計	222,885	219,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,935	55,935
資本剰余金	54,504	54,504
利益剰余金	90,866	99,170
自己株式	△146	△147
株主資本合計	201,159	209,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,086	22,466
繰延ヘッジ損益	3	△98
為替換算調整勘定	△2,609	5,309
退職給付に係る調整累計額	3,136	3,104
その他の包括利益累計額合計	19,616	30,782
非支配株主持分	1,918	2,101
純資産合計	222,694	242,346
負債純資産合計	445,579	461,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	82,094	87,744
売上原価	52,860	52,224
売上総利益	29,233	35,520
販売費及び一般管理費	22,297	22,817
営業利益	6,936	12,702
営業外収益		
受取利息	116	76
受取配当金	215	124
為替差益	—	3,690
持分法による投資利益	68	38
その他	613	415
営業外収益合計	1,014	4,346
営業外費用		
支払利息	510	363
為替差損	2,957	—
その他	745	678
営業外費用合計	4,213	1,041
経常利益	3,737	16,007
特別利益		
投資有価証券売却益	1,255	246
特別利益合計	1,255	246
特別損失		
固定資産除却損	114	53
減損損失	68	93
製品補償対策費	691	299
製品補償引当金繰入額	365	—
特別損失合計	1,239	446
税金等調整前四半期純利益	3,753	15,807
法人税等	1,709	3,525
四半期純利益	2,043	12,281
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△97	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,141	12,153

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	2,043	12,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,892	3,380
繰延ヘッジ損益	25	△102
為替換算調整勘定	△4,142	7,896
退職給付に係る調整額	△57	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	101
その他の包括利益合計	△10,101	11,244
四半期包括利益	△8,057	23,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,912	23,318
非支配株主に係る四半期包括利益	△145	207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	72,297	9,782	82,079	14	82,094	—	82,094
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	21	21	△21	—
計	72,297	9,782	82,079	35	82,115	△21	82,094
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	7,399	△474	6,925	22	6,947	△11	6,936

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	77,741	9,992	87,734	10	87,744	—	87,744
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	16	16	△16	—
計	77,741	9,992	87,734	27	87,761	△16	87,744
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	13,191	△479	12,711	△3	12,708	△5	12,702

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、前第1四半期連結累計期間△11百万円、当第1四半期連結累計期間△5百万円であり、セグメント間取引消去等が含まれております。